



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
1-2	老人クラブ支援事業	高齢者福祉課

事業シート7

課コード: 001035000
 担当組織: 高齢者福祉課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 大石 保之助

基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
計画コード	08	03	0175	01	017507	予算コード	11	01	31	41		

事業名: 老人クラブ支援事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	62,789	63,218	429		0.6	0.8	0.2
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	36	10,000			52,256		926

◆事業の目的

高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与する老人クラブについて、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動の実施及び推進を支援する。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

老人クラブ活動の支援を行う。

1. 浜松市老人クラブ連合会活動費補助金の交付
 高齢者福祉の推進に寄与する浜松市老人クラブ連合会に補助金を交付する。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の支援
 単位老人クラブの活動支援のため、活動資金を交付する。
 - (2) 老人福祉センター等へのバス送迎事業
 単位老人クラブに対して、年1回、老人福祉センター等への送迎バスの手配を行う。
 - (3) 高齢者の作品展開催事業
 高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

老人クラブ活動の支援を行う。

1. 浜松市老人クラブ連合会活動費補助金の交付
 高齢者福祉の推進に寄与する浜松市老人クラブ連合会に補助金を交付した。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の支援
 単位老人クラブの活動支援のため、活動資金を交付した。
 単位老人クラブ数435クラブ、会員数25,875人(H22.4.1時点)
 - (2) 老人福祉センター等へのバス送迎事業
 単位老人クラブに対して、年1回、老人福祉センター等への送迎バスの手配を行った。
 利用クラブ数212クラブ
 - (3) 高齢者の作品展開催事業
 高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催した。例年、出品資格を「老人クラブ会員のみ」としていたが、老人クラブ活動を多くの高齢者に知ってもらうことを目的として、会員以外の方でも出品できるよう事業内容を変更した。
 開催期間 平成22年11月11日(木)～15日(月)
 出品数 335点(内、老人クラブ会員外出品作品22点)

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等						
昭和 39 年	年	自治事務	浜松市老人クラブ活動費補助金交付要綱等						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働	
一般会計							○	○	
行革審答申		外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
		*H20は事業仕分け							

(単位:千円)

		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	62,789	63,218	63,218	63,218	63,218	252,872
	決算	57,742					0
財源内訳	国・県支出金	17,540	17,418	17,418	17,418	17,418	69,672
	市債						0
	その他						0
	一般財源	40,202	45,800	45,800	45,800	45,800	183,200
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		4,800	6,400	6,400	6,400	6,400	25,600
内訳	人工(正規)	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		67,589	69,618	69,618	69,618	69,618	278,472

成果指標1		老人クラブ加入者数(4月1日時点)					
種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	人	30,250	27,763	27,763	27,763	27,763
	実績	人	25,875				

成果指標2		バス利用老人クラブ数					
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	クラブ	280	216	216	216	216
	実績	クラブ	212				

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

毎年、老人クラブ数並びに会員数は減少傾向にある。
平成19年度に単位クラブが市老連に支払っていた会費の徴収をやめ、その分を市から市老連へ補助金として支払う方式としたため、クラブ数の減少は緩やかになっている。

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

高齢者の自主的な地域組織である老人クラブの活動を支援することにより、地域福祉の推進と高齢者自身の介護予防と相互の生活支援・生きがいがづくりが図られる。

(2) 実施主体: 市

(理由)

高齢社会の進展により、老人クラブの重要性は高まっており、活動を支援していく必要がある。高齢者の自主的な地域組織である老人クラブの活動を支援することにより、地域福祉の推進と高齢者自身の介護予防と相互の生活支援が図られる。

(3) 選択と集中 現状

(理由)

老人クラブの事業活動への支援は、高齢者の生きがいがづくりのため必要である。

(4) 改善: その他改善

(理由)

老人クラブ支援事業のうち、市老人クラブ連合会に対する補助金は、活動状況を精査するなかで平成21年度分から減額の見直しをしている。

今後の方向性 改善

老人クラブを取り巻く環境は年々変化してきているが、高齢者が住み慣れた地域で生きがいある生活を過ごしていくために有効な組織である。今後も活動状況を精査し、支援する必要がある。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

- 市老人クラブ連合会の補助金の削減
 - ・平成20年度 29,078,750円
 - ・平成21年度 24,717,000円(△4,361,750円)
 - ・平成22年度 22,600,000円(△2,117,000円)
- ※平成23年度は前年度と同額

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

- 活動内容を精査する中で、次年度の補助金を反映させる。

論点シート

事業番号	1 - 2	事業名	老人クラブ支援事業
部局	社会福祉部	所管課	高齢者福祉課
H23 予算	63,218 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	62,789 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 65 歳以上人口 18 万人に対して老人クラブ加入者数は約 3 万人、老人クラブ数と会員数の増減の状況は、減少傾向にある原因は何か、対策の取組と効果は ・ 高齢者が地域の中で健康でいきいきとした生活を送ることができるような環境づくりを目指すという政策達成手段として老人クラブに対する助成は効果的、効率的か ・ 高齢者の知識や技術を必要とする地域と、地域貢献したい高齢者とのマッチングなど新たな事業展開の可能性は ・ 老人クラブ以外で高齢者の生きがいや健康づくり事業を展開している団体はないか、ある場合に支援をしているか、より多くの高齢者が受益できる手段はないか ・ 補助金以外で単位老人クラブを支援する方法はないか ・ 老人福祉センターへのバス送迎を市が支援して行う理由は何か ・ 高齢者の生きがいづくりに関する制度が重複しているので整理すべきではないか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化する高齢者のニーズに対応した効果的、効率的な事業の改善について検討すべき 			

老人クラブ支援事業

社会福祉部高齢者福祉課

1 単位老人クラブ数・会員数の推移

項目	H20	H21	H22	H23
(1) 単位老人クラブ数(クラブ)	446	431	435	427
(2) 会員数(人)	27,237	26,087	25,875	25,503
(3) 加入率(%)	12.2	11.3	10.8	10.4
(4) 60歳以上人口(人)	223,155	231,645	238,785	244,230

※1 各年度4月1日現在 ※2 60歳以上人口は外国人を含まない。

2 事業費の推移

(単位：円)

項目	H20	H21	H22	H23
(1) 浜松市老人クラブ連活動費補助金	29,078,750	24,717,000	22,600,000	22,600,000
(2) 単位老人クラブ活動費交付金	28,412,150	27,650,663	27,411,266	29,656,000
(3) 老人福祉センター等へのバス送迎事業	6,917,400	9,996,000	7,640,850	10,000,000
(4) 高齢者の作品展開催事業	(675,650)	(652,292)	(655,068)	799,000
(5) 事務費	62,550	98,170	89,325	163,000
合計	65,146,500	63,114,125	58,396,509	63,218,000

※1 H20～22年度は決算額、H23年度は予算額を表示。

※2 H20～22年度の合計欄には、(4)高齢者の作品展開催事業を含む。

3 補助金等の交付根拠と支援の必要性

- ・国及び市は、「老人福祉法」(第13条第2項)により高齢者の福祉を増進する目的とする事業の振興を図るため、老人クラブ等に対して、必要な支援をするように努めなければならない。
- ・市はこれを受けて法の趣旨や団体の存在意義、また事業運営にかかる自主財源が乏しい団体であることを考慮し、支援措置を行っている。

4 事業の内容

(1) 浜松市老人クラブ連合会活動費補助金

[活動内容]

① 活動促進事業

連合大会及び理事会等の開催運営、女性部会等各部会の設置及び開催運営

② 健康づくり・介護予防支援事業

健康づくり推進指導員の育成、各種レクリエーション事業の実施

③ 地域支え合い事業

町ぐるみ友愛訪問、社会奉仕活動の実施、共同募金への協力

④ 若手高齢者組織化・活動支援事業

若手高齢者加入促進運動の実施(プラス一割活動等)、功労者表彰の実施

⑤ 活動支援体制強化事業

他市町老連との連携事業の実施、各地区連合大会の開催運営

(2) 単位老人クラブ活動費交付金

[活動内容]

- ①地域支援活動 … 高齢者友愛訪問、公園等の清掃活動 等
- ②世代間交流活動 … 子供見守り安全隊、昔の遊び伝承活動 等
- ③教養講座の開催 … 市出前講座等を活用した教養講座の開催
- ④健康増進活動 … スポーツ、レクリエーション活動の実施

[交付金の算出方法]

- ① 会員数 会員数 × 400 円
- ② 均等割 会員数に応じて 10,000 円～30,000 円
- ③ 活動分 100 円 × 活動への延参加人数 (上限あり)

(3) 老人福祉センター等へのバス送迎事業

[事業内容]

老人福祉センター等を利用する単位老人クラブに対して送迎バスを年 1 回配車することで、社会参加の促進、会員加入のきっかけづくり、引きこもりの防止など、老人クラブ活動の支援を行う。

[事業実績の推移]

項目	H20	H21	H22
(1) 単位老人クラブ数(再掲、クラブ)	446	431	435
(2) 利用クラブ数(クラブ)	198	237	212
(3) 利用率(%)	44.39	54.98	48.73
(4) 送迎バス配車台数(台)	208	237	230

(4) 高齢者の作品展開催事業

[事業内容]

日頃の学習成果として、絵画・彫刻・書・写真・手工芸などの作品を発表する機会を通して、高齢者の生きがいの増進を図る。

[事業実績の推移]

項目	H20	H21	H22
作品出品点数(点)	280	307	335